

1 議長挨拶

2 経過報告

- 4月24日 HP 2014年度版「石狩市の学校間連携」アップ
- 5月8日 第62回連携会議
- 5月19日 事務局：胆振管内小中学校事務職員研究会 講師参加
- 5月28日 予算要望部担当会議（議案検討）

3 協議題1「平成28年度 石狩市教育予算要望書」に向けた具体的作業について ～ 別紙1
（提案 予算要望部担当）

4 協議題2「領域実践シート」の交流について ～ 別紙2

5 実践交流

6 連絡事項

- ①HP掲載資料「石狩市公立小中学校の概要」の更新作業について、まだ、未提出の方は提出の方をお願いします。奨励プロ・外部講師他未記入で提出された方は、その部分の数字だけでも構いませんのでメールで、お知らせください。また、就学援助の欄を見え消しにしています。昨年度と同じ人数の学校が多数見受けられます。もう一度ご確認願います。訂正する場合は同じようにメールをいただければと思います。

別紙1「平成28年度 石狩市教育予算要望書」作成に向けた具体的作業について

1. 今年度の取組について

(1) 基本方針

①円滑な学校運営と保護者負担軽減に資するよう、実態調査に基づいた説得力ある要望書作成を目指す。

(2) スケジュール

①予算要望部会議（原案審議）	5月28日
②基本方針と具体的作業の確認	6月11日（63回連携会議）
③市予算要望委員会	6月 日
④各学校への資料・調査配布	6月下旬 or 7月上旬
⑤各学校からの調査回収	夏休み明け
⑥提出資料の確認	9月25日（66回連携会議）
⑦予算要望委員会への提出	9月 日（連携会議終了後）

2. 具体的内容とするめ方

(1) 学校配分予算（全般）

学校配分予算に関して、**今年度配分予算調整を行ったことを踏まえて**、各学校での課題や要望について集約し、重要な点については**要望書に盛り込む**。

(2) 学校配分予算（需要費消耗品関係）

①各学校における印刷関連の前年度実績を数値化（**過去3年間のグラフ化ができれば、その方向で進めていく**）

- i) 印刷機インク・マスターの費用算出
- ii) 用紙代の費用算出
- iii) コピー使用料の算出
- iv) プリンタインク・プリンタトナーの費用算出

以上の合計により、印刷関連費用の合計を算出

②徴収金調査を行い資料化するとともに、公費負担に切り替える趣旨で要望するものをピックアップし各校一覧にする（**教材の件数が多い場合は、ある程度教科ごとにまとめて記載する**）。

※前年度のエクセルデータを送るので修正してください。

③PTA等外郭団体から支出されている費用のうち、学校配分予算等公費で支出することが可能（されるべき）な経費について調査し資料化する。（前年度との比較も行う。）

(3) 学校配分予算（役務費関係）

切手代やクリーニング料で他団体や徴収金から支出されているもの、又は例年の配分では全く不足しているもの（カーテンやモップ、特に柔道着のクリーニングなど）の状況を調査し、必要なら要望事項に盛り込む（**学校配分予算役務費の調整を行った学校については、調整を行った結果どのように状況が変化したか、合わせて盛り込む**）。

(4) 備品購入費関係

①中学校プラスバンドの楽器購入5カ年計画を策定し、要望書に記載する（**修繕料・調整料もわかりやすく記載する**）。

②備品購入要望は学校ランキング表に載ることになっていることから今年度も連携会議としては整理しないこととする。各学校においては、春の備品購入計画取りまとめで入札に漏れた物などが、各校ランキング表に間違いなく記載されているか確認をお願いします。

平成28年度教育予算要望書 要望事項集約用紙

<事務職員が各学校で調査の上記入提出してください> 学校名【 】

1. 学校配分予算全般について

(1) 今年度学校配分予算の調整を各学校で行いましたが、調整を行ったうえでさらに執行上課題を有していること、改善に向けた方法、その他意見要望について自由に記載してください。

節	細節	細節内訳	意見要望等（枠の大きさは自由に変更してください）
需用費	消耗品費	消耗品費	
		行事費	
		クラブ活動	
		グラブ・バント	
		衛生費	
		学力向上	
		印刷製本費	印刷製本費
	食料費	食料費	
	備品修繕料	一般備品	
		グラブ・バント	
役務費	通信運搬費	郵送料	
	手数料	クリーニング	
備品 購入費	庁用器具費	管理備品	
		クラブ活動	

(2) その他、予算全体に関する事項

課題となっている事項	要望事項・改善方法
(例)	(例) 節内で流用を可能にほしい

2. 市経理消耗品費に対する印刷関連費の割合

(2014年度実績で願います。P C教室分も配分消耗品費で措置している限り、この調査に含めてください)

※他団体の使用分については、実費または現物返済があったものと見なすので、無視してください。

プリンタインク・トナー使用量	円
印刷機インク・マスター	円
コピー機使用料	円
用紙代	円
消耗品費に対する割合	%

3. 各教科実験材料費（薬品類を含む）の保護者負担の状況

※別途送信するエクセルワークシートを修正して提出してください（教材の件数が多くなる場合は、ある程度教科ごとにまとめて記載してください）。

4. 「3」以外でPTA等外郭団体から支出されている費用のうち、学校配分予算等公費で支出することが可能（されるべき）な経費

※（部活動・少年団に関するものは除く）（2015年度の計画又は2014年度の実績）

支出内容	金 額	説 明
(例) 運動会花火	6,000	PTA 行事費
(例) 旅費	5,360	進路指導費

5. 学校図書館整備に係る消耗品などの必要な経費（学校図書館司書配置校）

※学校配分予算とは別に、学校図書館司書の方の業務に必要な経費について記載してください（学校図書館司書の方から聞き取りを行い、記載してください）。

支出内容	金 額
(例) ブックコート	5,000
(例) バーコードシール	3,000

6. 役務費関係

※切手代やクリーニング料で他団体や徴収金から支出されているもの、又は例年の配分では全く不足しているもの（カーテンクリーニングなど）を記載してください。記載内容はそのまま資料化します。

「老朽化のためクリーニングができない」場合は、その状況を記述してください。記述内容も資料化します（なお、カーテンについて備品として購入を検討している場合は、学校ランキング表に記載も忘れないようお願いいたします。）。なお、学校配分予算役務費の調整を行った学校については、調整を行ったうえでの状況を記述してください。

要望内容	金 額	要望の理由と積算内訳
(例) カーテンクリーニング	7,200	H26年度に PTA 会費で実施。今後年3教室程度のローテーションで実施したい。1,200円×2枚×3教室
(例) 柔道着クリーニング	8,640	H26実績80着36,000円で、27年度配分額調整のため、柔道着のクリーニングは配分予算で賄えるようになるが、それでも配当不足のため帯（単価108円）は手洗いしなければならない。
(例) 切手代	40,000	H26年実績34,500円だが進路関係の切手代の一部を進路指導費（保護者負担）で支出している
(例) 保健室用品クリーニング	18,000	H26実績18,000円
役務費要望合計	108,200	

要望内容	金 額	要望の理由と積算内訳
役務費要望合計		

7. その他の配分項目についての要望

2～6に当てはまらない要望について自由に記載してください。内容によっては統一要望に反映していきます。 ※
金額的要望事項について記入願います。

支出内容	金 額	説 明
(例) 教職員図書費の新設をお願いしたい	30,000	
(例) 太鼓部修繕費（一度の修繕で24万円程度・数年おきに一度の修繕）	240,000	太鼓の修繕費が学校配分予算内にないため、容易に修繕ができず苦慮している。

8. ブラスバンド・マーチングバンドの楽器購入5カ年計画

別途エクセルワークシートに計画を記載してください。なお、楽器現有金額の10%を楽器修繕料・調整料として要望するので、修繕料・調整料についてもわかるように記載してください。

計画年度	計画楽器名（型番不要）	数量	金額（税込み）
H28年度			
H29年度			
・			
・			
・			
・			

領域実践交流シート

石狩市立双葉小学校 佐藤信明 2015/6/11

見つけた課題	教材備品の故障や消耗品の破損などが多く、備品修繕料や消耗品費を圧迫している。職員から「〇〇が壊れたので修繕してほしい。」「 が摩耗したので新しいものを購入して欲しい。」などの要望が年々多くなっているように感じた。特にミシンについては毎年、故障して修繕費に3～4万円かかっていたこと、掃除用具などの消耗品費にも経費が嵩んでいた。
課題解決に向けた行動の経過	以前から備品の故障や破損については、使い方に問題があるのではないかとこの疑念を持っていたので、授業を覗いたり清掃作業の状況を見たりして、実際に使用している状況を確認した。
行動する上で見えたこと	ミシンについては、使い方というより手入れの仕方が足りないように感じた。また、清掃用具では自在ボーキを押して使っていることから、毛先が開いて破損し、交換するサイクルが早いことがわかった。
とりくみの結果、何がどうなったか	ミシンの修理については、業者が修理しているところを見たり、ミシン修理センターへ行って手入れ方法を教えてもらったり、インターネットなどで調べたところ、大きな破損でない限り素人でも修理できることがわかったため、修理道具を買って自分で修理することとした。また、自在ボーキなどの清掃道具は、正しい使い方を先生方に指導してもらうことで破損などが減っていった。その結果、修繕費や消耗品費が浮き、他の消耗品に当てることが出来るようになった。
とりくみの感想など	備品の手入れや使い方を指導することにより、長い期間使用することができ、結果的に経費の節約につながった。

領域実践交流シート

学校名【石狩市立樽川中学校】 記入者【坂地和哉】

作成日【2015年6月11日】

見つかった課題	本校の諸費を検証してみました。家庭科や技術・美術の実習費に関しては実費を徴収しているのだが、理科と学級費については定額を徴収していました。説明責任の観点からも実習費等の内訳を保護者に示し実費徴収出来ないかまたは無理であればその徴収金額を決定する算定基準を明確にできないか検討してもらうこととした。
課題解決に向けた行動の経過 (時系列で箇条書き程度)	<ul style="list-style-type: none"> ・理科の実習費については昨年度、理科主任が変わり1年間掛けて担当と協議を行った。 ・職員会議や年度末反省などを通して学級費と市経理および補助金との関係性を話し新年度の学年部会において学級費の使い方の検討などをお願いした。
行動する上で見えたこと	<ul style="list-style-type: none"> ・教科担当が変わると全く考え方も授業をすすめるうえでのポイントも変わってくる。学習指導要領を理解しても分からない部分がある。 ・新年度の始めの忙しい時期なのでなかなかゆっくり時間を持つことが出来ない。 ・教科の中でも各学年ごとに担当が違うとなかなか共通認識にたてない部分も出てきてしまう。 ・即座に反応する教員とそうでない教員がいる。
とりくみの結果 なにがどうなったか	<ul style="list-style-type: none"> ・理科の実習費について昨年度は500円から400円に下げた。しかし今年度については同額の400円を徴収する事となった。昨年度、理科担当の3人のうち2人が変わり必要な物が足りない状況だから今年度は同額を徴収させて欲しいと担当者から懇願されたため。 ・今年度から学級費について全学年400円から300円に下げる事となった。時間の関係などから実費徴収や明確な算定基準までは出せなかったが一人の教員が中心になり全学年に声を掛けてくれて全学年で100円引き下げて今年度は進める事となった。
とりくみの感想 など	<ul style="list-style-type: none"> ・理科の実験材料の選択や必要性についてはなかなか事務職員は分からない範疇である。 ・学級費は集めると必要性の有無よりあるから使うとの認識しか持てない教員もいる。 ・教員の父母負担の軽減の意識付けには効果的だったのではないと思う。 ・すぐに反応してくれる教員に感動しこちら側から言わなかったのだが徴収金額を下げる事につながりました。 ・学級費の実費徴収は難しいかもしれない。